

向東だより

令和7年9月「学校評価アンケート(前期)」報告

平素は本校教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。先日は『学校評価アンケート』へのご回答ありがとうございました。本校では、令和7年度下記の学校経営方針にそって、様々な教育活動を行っております。今回、生徒・保護者・教職員を対象に実施した「学校評価アンケート(前期)」を元に、3つの視点で、向島東中学校について分析をしましたので、報告させていただきます。

学校教育目標

『未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成』

◆目指す生徒像

「愛」 人を大切にする生徒

～人(自他ともに)を大切に思い、つながり、高めあう姿～

「学び」 学びに夢中になる生徒

～学びに没頭し、他者と協働しながら教科の魅力を楽しむ姿～

「徳」 自律・自立のもと自己変革できる生徒

～目標を立て、見通しを持ち、自己調整しながら成長する姿～

◆生徒に付けたい資質・能力

『対話力』

○事象との対話…知的好奇心や探究心をもって向き合う姿

○自己との対話…自己理解、自己調整しながら、粘り強く取り組み、
その過程を振り返る中で自己認知につなげる姿

○他者との対話…思いやりをもって、つながり、高め合う姿



【豊かな心の育成】

本校の学校改革の柱の一つ「つながり」を意識した取組を実感できるのが「向東祭」です。縦割り活動で他学年と積極的に関わり、経験や感動を共有することで、向島東中学校を誇りに思い、先輩たちの思いを継承・発展させたいという思いが高まっていきます。今年度は学校評価アンケートを早い時期(10月から7月)に変更したために、向東祭へ向けての準備段階での評価にも関わらず、「互いを思いやり、認め合う」(84.2%)、「学校を誇りに思う」(74.7%)と高い評価につながっている点は、学校が目指す「人を大切にする生徒」の姿がうかがえます。ぜひ向東祭での生徒の姿を直接ご覧いただき、その成長を見守ってください。

【学習について】

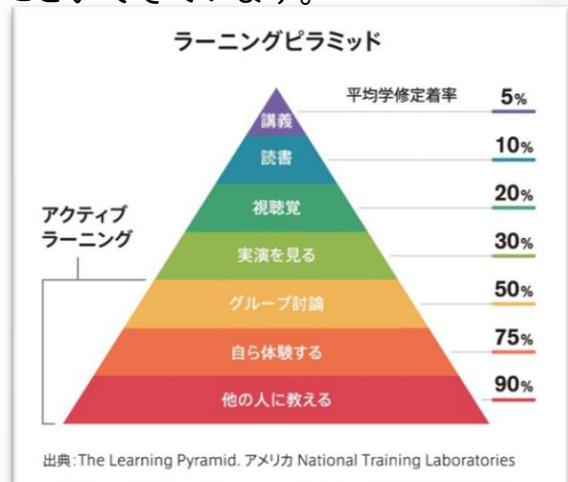
向島東中の「学びの作法」について、小学6年のオープンスクール、入学後すぐの全校集会や学活で確認する流れが定着し、年々中学1年生でもグループ活動が上手にできるようになってきました。

今回の学校評価の結果でも「話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる」と感じている生徒が85%と過去3年の中では最も高く、教員も全員が「指導法の工夫に取り組んでいる」と答えています。校内でも教員同士がチームを組んで授業参観を行い、指導法の工夫について考える機会を増やしています。生徒たちも授業を見られることにも慣れ、ホワイトボードの使い方の使い方や授業の取り組む姿がどんどんよくなり、主体的に学ぶことのできる授業改革に学校一丸となって取り組むことができています。

アメリカ国立訓練研究所の研究によると、右の図にあるように、学んだことがより定着するのは、「グループ討論」、「自ら経験する」「他者に教える」と言われています。

HP等を利用して学校の様子をお伝えしていますが、今年度は授業公開の機会も増え、保護者や地域をはじめとする多くの方に参観していただける機会が増えています。

子たちの学びをぜひ、各ご家庭や地域でも共有し、話題としていたくことが生徒たちのさらに成長する力につながるとともに、励みになっていきます。ご協力をお願いいたします。



出典: The Learning Pyramid. アメリカ National Training Laboratories

【生活面について】

中学時代は体の成長が著しく、健康で暮らしていくには十分な睡眠と規則正しい生活が不可欠です。1日のスマホの使用時間は「2時間以上」(82.2%)が過去最高の割合で、「2時間未満1時間以上」を合わせると、97.2%となっています。

また平日の就寝時間については、10時までに寝る生徒が約12%と過去3年間の中では最も少ない数値となりました。各家庭の事情や、習い事、学習が理由で遅くなる生徒もいるかもしれません、深夜までSNSやゲームなどで多くの時間を費やし、就寝時間が遅くなったせいで朝起きられない、食欲がない、といった不規則な生活になってしまわないように気を付けたいものです。

学校でも、保健体育科の授業や保健室だよりなどを通して、学校からも発信していますが、各家庭・地域でも「早寝早起き・朝ごはん」を意識した取組にご協力お願いいたします。

これからも向島東中学校の学校改革は進んでいきます